

会社の概況 (平成26年 9 月30日現在)

概要

商 号 ダイトケミックス株式会社
(英文名：Daito Chemix Corporation)

本社所在地 〒538-0031
大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話 06 (6911) 9310 (代表)

設 立 昭和24年12月2日

資 本 金 2,901,163,150円

社 員 数 186名

主な営業品目 感光性材料、印刷材料、写真材料、
記録材料、医薬中間体、その他化成品

役員

〈取締役〉

代表取締役	二 宮 榮 規
取 締 役	永 松 真 一
取 締 役	根 津 欽 一 郎
取 締 役	永 田 晃 司

〈監査役〉

常 勤 監 査 役	佐 京 豊 治
監 査 役	草 尾 光 一
監 査 役	飯 田 健 一

〈執行役員〉

執行役員社長	二 宮 榮 規
常務執行役員	永 松 真 一
執行役員	根 津 欽 一 郎
執行役員	永 田 晃 司
執行役員	山 田 基 昭

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告 公告掲載アドレス http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)
(電話照会先) (インターネット ホームページアドレス)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
当社インターネット ホームページアドレス	http://www.daitochemix.co.jp
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第2部
証券コード	4366

株式に関する手続き等について

お問い合わせ内容	証券会社等にて株式をお持ちの場合	特別口座の場合*
単元未満株式の買取・買増請求	お取引の証券会社等 にお問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 にお問い合わせください。
配当金受取方法の変更		
住所変更		
株式の口座振替		
株式の相続手続き	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)	
未受領の配当金の受取方法		

*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様の株式は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に「特別口座」を開設して記録、管理しております。



第69期 中間報告書

平成26年4月1日から
平成26年9月30日まで

ダイトケミックス株式会社

証券コード：4366

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第69期第2四半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月



代表取締役

二宮 栄規

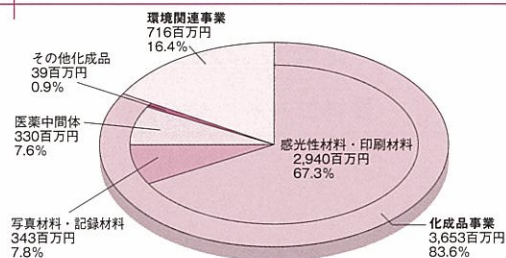
事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和策、米国経済の緩やかな回復の効果もあり、企業収益の改善や株式相場の上昇など景気回復基調にあるものの、円安の進行などによる原材料およびエネルギーコストの上昇、消費税引き上げによる駆け込み需要の反動減、中国やその他新興国経済の成長鈍化、地政学的リスクの高まりなどによる世界経済の減速懸念があり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動や、先端の半導体用感光性材料、フラットパネルディスプレイ周辺材料、機能性材料、プリンター用記録材料、医薬中間体の新製品開発、廃棄物処理、リサイクルの特殊技術開発などに積極的に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は43億69百万円（前年同四半期比2.9%増）、経常利益は1億39百万円（前年同四半期比52.7%増）、四半期純利益は1億38百万円（前年同四半期比83.9%増）となりました。

売上高構成比(連結)



事業別セグメント

【化成品事業】

当事業の売上高は、前年同四半期比1.3%増の36億53百万円となりました。

1. 感光性材料及び印刷材料

液晶用感光性材料は、需要低迷により販売数量、売上高ともに減少いたしました。一方、半導体用感光性材料は好調に推移いたしました。

この結果、感光性材料及び印刷材料の売上高は、前年同四半期比6.6%増の29億40百万円となりました。

2. 写真材料及び記録材料

記録材料の売上高は増加しましたが、イメージング材料、写真材料は、需要低迷により販売数量、売上高ともに減少いたしました。

この結果、写真材料及び記録材料の売上高は、前年同四半期比31.3%減の3億43百万円となりました。

3. 医薬中間体

医薬中間体は、既存製品の販売数量、売上高の減少がありましたが、開発品の本格生産開始により、売上高は増加いたしました。

この結果、医薬中間体の売上高は、前年同四半期比11.5%増の3億30百万円となりました。

4. その他化成品

販売数量、売上高ともに減少いたしました。

この結果、その他化成品の売上高は、前年同四半期比24.3%減の39百万円となりました。

【環境関連事業】

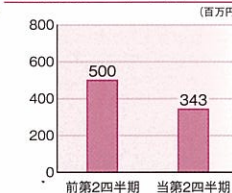
当事業の売上高は、前年同四半期比12.3%増の7億16百万円となりました。

産業廃棄物処理分野につきましては、一部主要顧客の工場稼働率が増加し、受託量、売上高ともに増加いたしました。化学品リサイクル分野につきましては、非電子部品関連のリサイクルが低調に推移したため、受託量、売上高ともに減少いたしました。

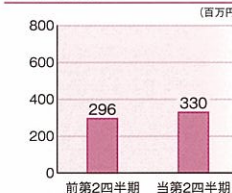
感光性材料及び印刷材料



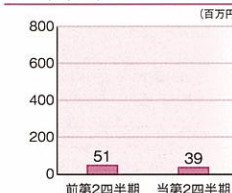
写真材料及び記録材料



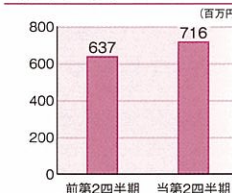
医薬中間体



その他化成品

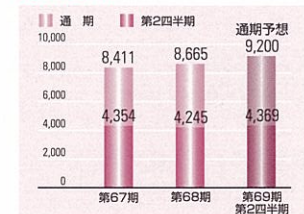


環境関連事業

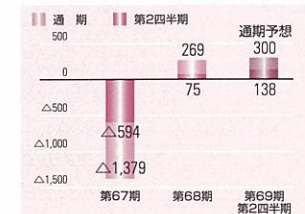


業績の推移 (連結)

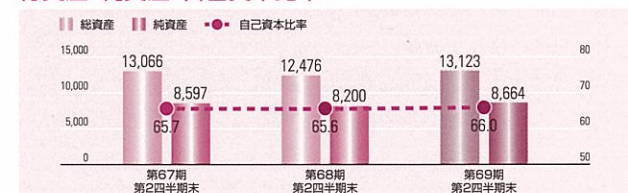
売上高



四半期(当期)純利益



総資産/純資産/自己資本比率



※当社ホームページにて決算情報等がご覧いただけます。
<http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm>

株式の状況 (平成26年9月30日現在)

株式総数・株主数

発行可能株式総数	47,900,000株
発行済株式の総数	11,400,000株
株主数	1,031名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
東京応化工業株式会社	522 千株	4.86 %
ダイソーケミックス社員持株会	512	4.77
日本生命保険相互会社	499	4.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	482	4.49
竹中一雄	475	4.42
富士フイルム株式会社	439	4.09
ダイソーケミックス取引先持株会	432	4.02
株式会社三井住友銀行	371	3.45
日本精化株式会社	201	1.87
みずほ証券株式会社	186	1.73

(注) 持株比率は、発行済の普通株式の総数から自己株式653,818株を除いて計算しております。